学校番号	T3017

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭科	科目	（通）家庭総合	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	家庭総合「自立・共生・創造」　（東京書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自分の生活を一度見つめなおし、よりよい生活を目指していきましょう！
授業はノートを使って学習しますので準備しておいてください。
毎時レポートを渡しますので提出期限を守るようにしてください

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭，子供や高齢者とのかかわりと福祉，消費生活，衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ，家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに，生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族･家庭，子供や高齢者との関わりと福祉，消費生活，衣食住などについて関心をもち，その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに，実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族･家庭，子供や高齢者との関わりと福祉，消費生活，衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし，その解決を目指して思考を深め，適切に判断し，工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭，子供や高齢者との関わりと福祉，消費生活，衣食住などに関する技術を総合的に身に付けている。	人の一生と家族・家庭，子供や高齢者との関わりと福祉，消費生活，衣食住などに関する知識を総合的に身に付けている。
評価方法	出席状況 ノート・プリント等	ＤＶＤ鑑賞 レポート	レポート作品作成	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月～	**第5章　経済生活を営む**	1 職業生活を設計する	○		○		a: 生涯を見通した生活における経済計画について関心を持っている。 ・消費生活における課題や消費者の権利と責任について。 b:多発する消費者問題について，その原因と対策について考えている。 ・よりよい消費行動と環境との関わりについて考え，工夫している。 c:身近な生活の中から，環境や生活様式の見直しを行い、自分の消費行動を検証することができる。 d:家庭経済と国民経済の関わり，家計の管理や経済計画の重要性を理解している。 ・消費者問題の現状や消費者の権利と責任・環境について理解している。	出席状況 レポート レポート 定期考査
		2 計画的に使う	○			○		
		3 国民経済・国際経済と家庭の経済生活			○	○		
		4 現代の消費社会	○	○	○	○		
		5 消費者の権利と責任	○			○		
		6 これからの消費生活と環境		○	○	○		
5月	**第3章　高齢社会を生きる**	1 高齢期を理解する	○	○		○	a: 高齢社会の現状と課題，高齢者の心身の特徴や生活などについて関心を持ち，高齢者を肯定的にとらえ，高齢期の生活について考えようとしている。 b: ・高齢者や高齢者を取り巻く社会について，具体的に課題を見い出し，その解決を目指して思考を深め，まとめたり，発表したりしている。 c: 地域の高齢者福祉サービスについて情報を収集したり，調査したりすることができる。 d: 高齢社会の現状と課題，高齢者の心身の特徴や生活について理解している。	出席状況 レポート レポート 定期考査
		2 高齢者の心身の特徴	○		○	○		
		3 高齢者を支える		○				
		4 これからの高齢社会	○		○	○		

	第4章　共に生き，共に支える	１私たちの生活と福祉 ２社会保障の考え方 ３共に生きる 誰もが暮らしやすい社会を目指して	○ ○ ○	 ○ ○	 ○	○ ○ ○	a：共生社会に関心を持ち、主体的に行動しようとしている b:共生社会を実現するために工夫している。 c：共生社会の実現に向けて支え合う活動に必要な技術を身につけている。 d:社会福祉の基本的な理念や内容について，共生社会を実現するために必要な知識を身につけている。	出席状況 レポート レポート 定期考査
6月	第7章　衣生活をつくる	１被服の役割を考える ２被服を入手する ３被服を管理する ４これからの衣生活	○	○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:衣生活に関心を持ち，人間と被服，気候と被服の関わりを考えようとしている。 b:衣服の購入から廃棄，管理，環境との関わりなど衣生活について考え，工夫している。 c：健康と安全に配慮した被服計画を立てることができる。 d：着装，被服材料，被服構成，被服製作，被服管理などについて科学的に理解している。 ・資源の有効活用の視点から，購入，活用，手入れ，保管，再利用，廃棄を考えた持続可能な衣生活の必要性を理解している。	出席状況 レポート レポート 定期考査
7～9月	第8章　住生活をつくる	１住生活について考える ２住生活の計画と選択 ３住生活の文化と知恵 ４これからの住生活	○ ○	 ○	 ○	 ○ ○ ○	a：生涯を見通して，住居の機能や住空間の計画などについて関心を持ち，よりよい住生活について考えようとしている。 b：ライフスタイルや価値観に応じた，生命と健康を守るための暮らしの在り方について考え，工夫している。 c：よりよい居住環境を整備するために必要な平面図を読み取ることができる。 d：住居の機能，住空間の計画，住環境など，安全で快適な住まいについて科学的に理解している。	出席状況 レポート レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。